

## 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場生活環境影響調査報告書（案）及び同概要版（案）修正内容一覧

	修正部分	修正内容
2.3.2 地中温度及び地下水位調査 ○ 本編 13 ページ ○ 概要版 18 ページ	(1) 地中温度 廃棄物埋立区域内で、地表からの影響を受けにくいと考えられる管頭からの深度5m以深かつ水面以下の最高温度と、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc. 1a 最深部との温度差は次のとおりであった。  1) 11月調査時 (略) 2) 1月調査時 (略)	(1) 地中温度 廃棄物埋立区域内の各調査地点における、 <del>地表からの影響を受けにくいと考えられる管頭からの深度5m以深かつ水面以下の最高温度と、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc. 1a 最深部との温度差は次のとおりであった。</del> <b>ただし、地表からの影響を勘案し、各調査地点の空気層及び管頭から深度5mより浅い部分を除外している。</b>  1) 11月調査時 (略) 2) 1月調査時 (略)
2.4 環境モニタリングの評価（総括） ○ 本編 16 ページ ○ 概要版 25 ページ	処分場敷地境界における～（略）  ■ 処分場内（埋立区域内）の～（略） ■ 周辺地下水（埋立区域外）では～（略）  このようなことから、引き続きモニタリングを継続し、処分場の状況を把握し、周辺環境への影響を考慮しながら、生活環境の保全に繋がるよう、適切な対応を図っていく必要がある。また、処分場の安定化に向け、地下水等検査項目基準を今回超過した砒素や過去に超過したことがある鉛については、自然由来である可能性も視野に入れながら、必要なデータの集積と解析を進め、当該処分場が廃止に至るまで、適切な維持管理を継続する必要がある。	処分場敷地境界における～（略）  ■ 処分場内（埋立区域内）の～（略） ■ 周辺地下水（埋立区域外）では～（略）  このようなことから、引き続きモニタリングを継続し、処分場の状況を把握し、周辺環境への影響を考慮しながら、生活環境の保全に繋がるよう、適切な対応を図っていく必要がある。また、処分場の安定化に向け、地下水等検査項目基準を今回超過した砒素や過去に超過したことがある鉛については、自然由来である可能性も視野に入れながら、 <b>また、近年緩やかな増加傾向にあるBODについては、処分場内における有機物の分解反応に着目しながら、</b> 必要なデータの集積と解析を進め、当該処分場が廃止に至るまで、適切な維持管理を継続する必要がある。
5.1 地中温度調査 ○ 本編 86～88 ページ 2.3.2 地中温度及び地下水位調査 ○ 概要版 18 ページ	① 地中温度測定結果表 ○ 本編 表5-1から表5-4 ○ 概要版 表2-7, 表2-8 ② 処分場内と場外対照地点（Loc. 1a）との温度差の変化 ○ 本編 図5-2 ○ 概要版 図2-57	表の凡例及び図の注釈の内容について、理解しやすいように別添のとおり修正した。
5.2 地下水位調査 ○ 本編 98 ページ 2.3.2 地中温度及び地下水位調査 ○ 概要版 20 ページ	令和2年度下半期の <del>上流側～下流側</del> にかけての水位標高変化（水位標高変化図） ○ 本編 図5-12 ○ 概要版 図2-59	H16-11の水位標高に誤りがあったため、別添のとおり修正した。
5.2 地下水位調査 ○ 本編 99～101 ページ 2.3.2 地中温度及び地下水位調査 ○ 概要版 21～23 ページ	地下水位経時変化図 ○ 本編 図5-15から図5-17 ○ 概要版 図2-62から図2-64	○ 令和3年2月13日に発生した福島県沖地震について、別添のとおり明示した。 ○ 福島県沖地震発生後に実施した水位計の点検結果について、別添のとおり記載した。
2 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準項目等の経年変化 ○ 本編 117 ページ 4 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準項目等の経年変化 ○ 概要版 34 ページ	○ 本編 2-8 発生ガス量 ○ 概要版 4-8 発生ガス量	別添のとおり、H16-6の発生ガス量のグラフを追加した。